

ジャパネット杯 平成27年度 第39回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

女子

男子 女子 回戦 ・ 準々決勝 準決勝 ・ 決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 A コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名																		
県立水海道第二	34	<table border="1"> <tr><td>18</td><td>—</td><td>14</td></tr> <tr><td>16</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7mTC</td><td></td><td></td></tr> </table>	18	—	14	16	—	11	—			—			—			7mTC			25	高水
18	—	14																				
16	—	11																				
—																						
—																						
—																						
7mTC																						

今大会、安定した試合運びで勝ち上がってきた茨城・水海道二と山口県勢の一角・高水との対戦。高水のスローオフで試合開始。序盤は双方速い展開からの攻撃で点を取り合うが、8分までに水海道二の5番相澤とサイドの7番江口がそれぞれ4得点をあげる活躍、一方高水はミドルシュートが連続して阻まれリズムに乗れず、水海道二が10-4と6点差をつけた。その後は双方とも3連続得点を二度取り合うなど点差はつまらなかったが、前半終盤に高水が2点連取し18-14の4点差で前半終了。

後半高水は11番横田を中心とした攻撃で追撃を開始。ポスト・速攻・ミドルなどが決まりだし得点を重ねるが、要所で水海道二9番齊藤のカットイン・5番相澤のミドルが決まり、追い上げムードが断ち切られる展開でゲームは進んでいった。高水は11番横田が10得点と気を吐いたが、それを上回る水海道二のフローター陣のミドル・ロングシュートの威力に軍配が上がり、水海道二が堂々たる試合はこびで34-25の9点差をつけ勝利し、決勝進出を果たした。

2016年 3月 28日

記載者氏名 潮海克郎